

令和元年度埼玉県推奨図書に関する諮問について
(関係資料一覧)

- 資料1-1 青少年に優良な図書の推奨について(諮問)(写し)
令和元年度埼玉県諮問図書審査票
- 資料1-2 令和元年度推奨図書選定の経緯
令和元年度推奨候補図書の申出状況
- 資料1-3 埼玉県青少年健全育成条例に基づく推奨、指定
及び命令に関する認定基準(抄)
- 資料1-4 埼玉県青少年健全育成条例(抄)
- 資料1-5 埼玉県優良図書選定委員会委員名簿
- 資料1-6 埼玉県青少年健全育成条例に基づく推奨、指定及び命令に
関する認定基準の改定について



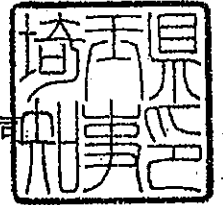
青 第 2 4 7 号

令和元年8月29日

埼玉県青少年健全育成審議会

会 長 東 宏 行 様

埼玉県知事 上 田 清 司



青少年に優良な図書の推奨について（諮問）

青少年に優良な図書として別記の図書を推奨したいので、埼玉県青少年健全育成条例第10条及び第25条第1項第1号の規定に基づき、審議会の意見を求めます。

令和元年度 埼玉県推奨図書(諮問図書)一覧表

諮問番号	部門別	書名	著者名等	発行所	価格(本体)	出版年月	ISBNコード
1570	乳幼児	くだもの ぱくっ	彦坂有紀/もりといずみ/作	講談社	¥1,200	H30.9	978-4-06-512796-4
1571	乳幼児	ねこです。	北村裕花/作	講談社	¥1,350	H30.9	978-4-06-513002-5
1572	乳幼児	ねーずみ ねーずみ どーこ いきや?	こがようこ/文 降矢なな/絵	童心社	¥950	H30.9	978-4-494-01257-2
1573	乳幼児	だんごむしの おうち	澤口たまみ/文 たしろちさと/絵	福音館書店	¥900	H30.3	978-4-8340-8386-6
1574	乳幼児	しゅつどう! しょうぼうたい	鎌田 歩/作・絵	金の星社	¥1,300	H31.2	978-4-323-07437-5
1575	小学校低学年	やきいもやゴリラ	ながい いくこ/作 くすはら 順子/絵	ポプラ社	¥1,300	H30.9	978-4-591-15989-7
1576	小学校低学年	二年二組のたからばこ	山本悦子/作 佐藤真紀子/絵	童心社	¥1,000	H30.11	978-4-494-02062-1
1577	小学校低学年	すき! I like it!	ほんえすん/作 サタケジュンスケ/絵	教育画劇	¥1,200	H30.3	978-4-7746-2138-8
1578	小学校低学年	おにのおにいさん	さいとうしのぶ/作・絵	ひさかたチャイルド	¥1,200	H30.12	978-4-86549-163-0
1579	小学校低学年	パワルのスケッチブック	みやざき ひろかず/作	BL出版	¥1,300	H30.10	978-4-7764-0878-9
1580	小学校中学年	消えた時間割	西村友里/作 大庭賢哉/絵	学研プラス	¥1,300	H30.4	978-4-05-204679-7
1581	小学校中学年	俳句がーる	堀 直子/作 高橋由季/絵	小峰書店	¥1,300	H30.12	978-4-338-31902-7
1582	小学校中学年	ヒヨウのハチ	門田 隆将/文 松成 真理子/絵	小学館	¥1,300	H30.7	978-4-09-726786-7
1583	小学校中学年	ハニーのためにできること	楠章子/作 松成真理子/絵	童心社	¥1,100	H30.12	978-4-494-02056-0
1584	小学校中学年	ほくのなまえばへいたろう	灰島かり/文 殿内真帆/絵	福音館書店	¥1,200	H30.6	978-4-8340-8408-5
1585	小学校高学年	ゆかいな床井くん	戸森しるこ/著	講談社	¥1,300	H30.12	978-4-06-513905-9
1586	小学校高学年	ガラスの梨 ちいやんの戦争	越水 利江子/作 牧野 千穂/絵	ポプラ社	¥1,500	H30.7	978-4-591-15908-8
1587	小学校高学年	キュリオシティー ーぼくは、火星にいるー	マーカス・モートン/作 松田素子/訳 渡部潤一/日本語版監修	BL出版	¥2,500	H31.2	978-4-7764-0875-8
1588	小学校高学年	ジュリアが糸をつむいだ日	リンダ・スー・パーク/作 ないとうふみこ/訳 いちかわなつこ/絵	徳間書店	¥1,600	H30.12	978-4-19-864748-3
1589	小学校高学年	子ども食堂 かみふうせん	齋藤飛鳥 著/ふすい 装画	国土社	¥1,500	H30.11	978-4-337-33635-3
1590	中学校	カーネーション・デイ	ジョン・デヴィッド・アンダーソン/著 久保陽子/訳	ほるぷ出版	¥1,600	H30.4	978-4-593-53531-6
1591	中学校	リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ	こまつあやこ/著	講談社	¥1,200	H30.6	978-4-06-221080-5
1592	中学校	ぼくたちのP(パラダイス)	にしがきようこ/作	小学館	¥1,400	H30.7	978-4-09-289763-2
1593	中学校	天地ダイアリー	ささきあり/作 高杉千明/絵	フレーベル館	¥1,400	H30.11	978-4-577-04698-2
1594	中学校	レモンの図書室	ジョー コットリル/作 杉田 七重/訳	小学館	¥1,500	H30.1	978-4-09-290619-8
1595	高校・青年	蕎麦、食べていけ!	江上剛/著	光文社	¥1,500	H30.5	978-4-334-91224-6
1596	高校・青年	シヨロアエイ	藤野恵美/著	光文社	¥1,700	H30.7	978-4-334-91229-1
1597	高校・青年	ある子ども	ロイス・ローリー/著 島津やよい/訳	新評論	¥2,400	H30.4	978-4-7948-1089-2
1598	高校・青年	風に恋う	額賀澤/著	文藝春秋	¥1,600	H30.7	978-4-16-390852-6
1599	高校・青年	世界に一軒だけのハン屋	野地 秩嘉/著	小学館	¥1,600	H30.12	978-4-09-388547-8

令和元年度埼玉県諮問図書審査票

(乳幼児)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1570	くだもの ぱくっ 講談社	「みかんをむきました。ぱくっ。」という文にあわせ、無地の背景に「くだもの」のみがシンプルに描かれている。「浮世絵」の手法で摺られた木版画は、説明がないと木版画とはわからないくらい緻密で美しい。バナナ、メロン、りんごなど、おいしそうに描かれている。丸ごとのくだものを、どのようにして食べるのかよくわかる。	(9)	
	彦坂有紀／もりとい ずみ／作	選定理由 「みかんをむきました。ぱくっ。」という文にあわせ、無地の背景に対象物である「くだもの」のみがシンプルに描かれている。「浮世絵」の手法で摺られた木版画は、説明がないと木版画とはわからないくらい緻密で美しい。バナナ、メロン、りんごなど、幼い子に身近な素材が、おいしそうに描かれている。どのようにして食べるのかよくわかる。		
1571	ねこです。 講談社	見開きいっぱい使って個性的な一匹の猫を描いているページが多く、迫力がある。「おはぎ?」「おまんじゅう?」いえいえ「ねこです」というシンプルな構成。猫が表情豊かで魅力的に描かれている。最後に「だいたい ほとんど みんな ねこ」とあり、一匹だけ犬が混じっているのがユーモラスな絵本。	(9)	
	北村裕花／作	選定理由 ねこに見えないものを「ねこですか?」「ねこです」というシンプルな構成の話。見開きいっぱい使って個性的な一匹の猫を描いているページが多く、迫力がある。猫が表情豊かで魅力的に描かれている。最後「だいたい ほとんど みんな ねこ」とあり、一匹だけ犬が混じっているのが、ユーモラスである。		
1572	ねーずみ ねーずみ どーこ いきや? 童心社	「ねーずみ ねーずみ どーこ行きや わがすへ ちゅっちゅくちゅ」というわらべ歌を幼児絵本にしたもの。一ページにねずみやうさぎ、こぐまなどの主人公だけを描いて、小さな子どもにもわかりやすく、魅力的。最後のページに、「わらべうたを使って子どもと遊ぶ遊び方」の説明が保護者向けにある。	(9)	
	こがようこ／文 降 矢なな／絵	選定理由 「ねーずみ ねーずみ どーこ行きや わがすへ ちゅっちゅくちゅ」というわらべ歌を幼児絵本にしたもの。一ページに主人公だけを描いて、小さな子どもにもわかりやすい構成。ねずみやうさぎ、こぐまはシンプルで魅力的。文章が手書き風で内容とあっている。最後のページに、「わらべうたを使って子どもと遊ぶ遊び方」の説明が保護者向けにあり、わかりやすい。		
1573	だんごむしの おう ち 福音館書店	女の子がダンゴムシと遊ぶ様子をやさしい水彩で描かれている絵本。女の子は地面のダンゴムシたちを観察すると、似ているワラジムシの違いがわかったり、まるまらないダンゴムシ、赤ちゃんダンゴムシなどの様子も描かれている。現代の子供たちにとって、身近な虫の一つであるダンゴムシの生態が自然に紹介されている。	(5) (9)	
	澤口たまみ／文 た しろちさと／絵	選定理由 女の子がダンゴムシと遊ぶ様子を描いた絵本。絵は子どもの視点で地面をみつめている様子がよくわかる。ダンゴムシに似ているワラジムシの違いも観察でわかる様子が描かれている。現代の子供たちにとって、身近な虫の一つであるダンゴムシの生態が自然に紹介されている。絵は水彩でやさしい印象である。		
1574	しゅつどう! しょう ぼうたい 金の星社	お父さんは消防官でレスキュー隊員。お父さんの一日を追いながら、消防署の仕事を紹介している絵本。舞台は、さいたま市。朝の服装・車両点検、訓練、そして火災発生から人命救助までを細部に渡り描かれている。リアルに描かれた絵は、消防署にふさわしい臨場感がある。	(9)	
	鎌田 歩／作・絵	選定理由 消防士のお父さんの一日を追いながら、消防士の仕事を紹介している絵本。舞台は、さいたま市。消防士の服装、車両点検、訓練、火災というシチュエーションごとに、道具など細部が描かれている点が子供の強い関心・興味をかきたてる。絵はリアルに描かれ、臨場感がある。		

令和元年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校低学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1575	やきいもやゴンラ ポプラ社 ながい いくこ／作 すはら 順子／絵	大草原のど真ん中に、『ゴンラのやきいもや』があります。ゴンラが作るやきいもはおいしいと大評判。今日もお店の前に長い長い列ができて、動物たちは開店を待っています。「ぼっかぼかのお日さまの味」と評判のやきいもは、ゴンラがお芋や石にこだわっているからおいしいのです。ゴンラが「よし！」と思わない限りお店は開きません。みんなよだれいっぱい待っていると、「待たせたな」とようやくお店が開きます。みんなと一緒にゴンラのやきいもを食べたくなる一冊。	(3) (4) (5)	
		選定理由		
		インパクトのある表紙。「ゴンラ」という主人公だが、大きい鼻の孔で「ゴジラ」と見間違えてしまいそうになるところから、引き込まれ読んでみたくなる。美味しいやきいもを作りあげるまでのゴンラのこだわりの過程があり、とにかく待たされる動物たち…いかに美味しいやきいもが出来上がるのか、大いに想像力、味覚、嗅覚が刺激されページをめくる度に「食べたい！」気持ちがあふれてくる。		
1576	二年二組のたからばこ 童心社 山本悦子／作 佐藤真紀子／絵	二年二組には「たからばこ」があります。でも、たからものが入っているわけではありません。教室の中で、たから君の落とし物を見つけたら入れておく箱です。たから君の机からはどンドン物が落ちていきます。みなちゃんは、たから君の隣の席になり、一緒に日直をすることに。しかし、日直箱の中から生活科室のカギがなくなってしまいます。みんなは落とし物ばかりのたから君を疑います。果たしてカギはどこにあるのでしょうか。改めて個性を大切にしたい一冊。	(3) (4) (6) (10)	
		選定理由		
		身辺整理があまり得意ではないたからくん。となりの席に座ったみなちゃんの視点でお話が進む。子どもたちや先生方には「そうそう！」「こういうこと、あるある！」と共感を覚える学校生活のできごと。佐藤 真紀子さんの挿絵で、子どもたちの表情がいきいきと描かれ、登場人物の気持ちが読み取りやすい。何度も繰り返して読み直して考えたり、行間を想像したり、一人で本が読めるようになってきた子どもたちに、ぜひ手渡したい。		
1577	すき！I like it！ 教育画劇 ほんえすん／作 サタケシュンスケ／絵	右開きで読めば日本語。左開きで読めば英語。同じお話を2つの言葉で読むことができる一冊。わかりやすいイラストとともに、たくさん「好き」「I like it」が繰り返して出てくるので、目で読むだけでなく、声に出して楽しく読むことができます。楽しみながら英語に触れることができる一冊です。	(1) (4) (8) (10)	
		選定理由		
		「日本語も英語もどちらの言葉も話して好きになろう！」というコンセプトの通り、子どもたちの好きなものがたくさんつながっていき、自然に笑顔があふれる本。I am a cat. I like mice！と好きなものを表す時の英語表記は複数型になることや、I Love your father. という表記など、ほほえましく学ぶことができる。声に出して、何回も読んでみたい一冊。右開きからの絵と、左開きからの絵の違いを探してみても楽しい。		
1578	おにのおにいさん ひさかたチャイルド さいとうしのぶ／作・絵	鬼のお兄さん、お肉が大好き。今日は節分。鬼だとバレないように人間に変装してレストランへ出掛けます。でも、街には「おに」がつく言葉でいっぱい。鬼のお兄さんは、「おに…」と聞こえるたびに鬼だとバレてしまったと大慌て。無事に大好きなお肉が食べられるでしょうか？「おに」のつく言葉がたくさん出てきてリズムカルで楽しく、声に出して読みたくなります。	(4) (10)	
		選定理由		
		「おにのおにいさん、おにくが大好き！」だじゃれのような、語呂合わせの言葉遊びが続くような、リズムカルな文体で話が進む。「お肉の福内」「金棒ずし」など、鬼に関係のある、思わずクスリと笑ってしまう挿絵がたくさんあり、探しながらページをめくるのも楽しい。「お肉が食べたい！」と言いながら逃げることになるおにいさん。結末までのストーリー展開も愉快で、読後まで楽しさがあふれる一冊。		
1579	パウルのスケッチブック BL出版 みやざき ひろかず／作	パウルはうまく話すことができないため、自分の思いや考えを周りの人たちに伝えることが難しいです。「あやとりで遊びたい」と伝えたいけれど「後で遊びたいのね」と思われてしまうこともあります。しかし、得意な絵を描くことでみんなに自分の気持ちをわかってもらうことができます。「かわいい」「きれい」と感じるものも人それぞれ違います。一人一人個性があって、そのどれもが大切だと感じられる一冊です。	(1) (3) (4) (10)	
		選定理由		
		思いを伝える表現方法は「言葉」だけではない。言葉でうまく伝えられない主人公パウルは、絵を描くことが得意だ。自分のお気に入りや絵に表していくが、読者である私たちも「えっ！そっち？！」とパウルの視点に驚かされることもある。人によって見方・感じ方・とらえ方が違い、そのどれもが認められ、大切であるということを考えさせてくれる絵本。		

令和元年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校中学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推薦の有無
1580	消えた時間割 学研プラス 西村友里／作 大庭賢哉／絵	真子のクラスで配られる次週の「時間割予定」プリントに墨汁が飛び散った。真子のプリントは、「持ち物：絵の具」という部分に墨がつき読めなくなっていた。すると、そのとおりに、絵の具は使わずに終わる。「体育：鉄棒」のところに墨がついた菜々子はきれいな鉄棒をやらずに済む。初めは「面白い」「ラッキー」と思った子供たちだが、6月の行事が全て墨だらけだったすみれが交通事故にあったと聞き、知恵を出し合い行動し始める。	(3)	
		選定理由	(4)	
		「消えた時間割」という書名が読書意欲をかきたてる。学校生活の様子が詳しく表現されていて、読み手の子どもたちがうなずきながら読み進める様子が目に浮かぶ。不思議さ、おもしろさだけでなく、知恵を出し合い、話し合って行動していく主人公たちの様子に引き込まれていくストーリー。	(6)	
1581	俳句ガール 小峰書店 堀 直子／作 高橋由季／絵	主人公の梅野つむぎは、小学校4年生。隣町で暮らす祖母の様子を心配し、つむぎの母は出かけることが多くなった。母の代わりにたくさんのお家事をすることになり、つむぎの心は、モヤモヤする。そんな時、つむぎは俳句と出会う。作った俳句を友達にほめられたり、先生に認められたりしながら、つむぎは五七五だけで世界を表現できる俳句の魅力に気づいていく。	(2)	
		選定理由	(4)	
		五・七・五だけで世界を表現できる俳句の楽しさを感じられる本である。かわいイラストと主人公・梅野つむぎの魅力で、日本の伝統文化である俳句がぐっと身近なものになる。お年寄りや父母、友達との関わりの中で揺れ動くつむぎの心の様子もしっかり表現されている。	(5)	
1582	ヒョウのハチ 小学館 門田 隆将／文 松成 真理子／絵	太平洋戦争の頃、中国で村を襲うヒョウを退治しようと仲間と共に山へ入った日本兵の成岡正久小隊長が見つけたのは生まれて間もないヒョウの赤ちゃんだった。ハチと名付けられたヒョウの赤ちゃんは兵隊たちの宿舎で大切に育てられ、引き取り先の日本の上野動物園でも人気者になる。戦況悪化により他の動物と同じように毒入りの餌を与えられ…。戦時中の実話を描いた絵本で命と平和の尊さを考えさせられる。	(1)	
選定理由	(3)			
作家・ジャーナリストとして活動している高知出身の門田隆将さんが描いた実話をもとにした物語。明日の命も知れない兵隊たちがハチのために奔走し、深い愛情を注いだこと。こんなにもひとつの命を大切にしている人たちが、戦争をしなければならなかった悲劇。戦争の悲惨さと同時に、どんな時も優しさを失わなかった人たちのことがハチを通して描かれていて、命と平和の尊さについて考えさせられる。	(4)			
1583	ハニーのためにできること 童心社 楠章子／作 松成真理子／絵	主人公ふたばの祖母「あーちゃん」が亡くなった。あーちゃんは、田舎の家に老犬のハニーと住んでいた。あーちゃんが大事にしていたハニーを「ちゃんと面倒を見るから飼いたい」と申し出るふたば。父母と協力して、ハニーを飼い始める。ある日、ふたばはハニーの首の右側にぐりぐりしたふくらみを発見する。ハニーは悪性リンパ腫だった。元気がなくなっていくハニーにどう関わったらいいのか悩みながら向き合っていくふたばの姿を描いた物語。	(1)	
		選定理由	(3)	
		祖母の「あーちゃん」が亡くなった場面から物語が始まる。家の都合で動物を飼えずにいた主人公ふたばは、「私が、面倒みるから」と、祖母が大事にしていた老犬を飼い始める。老犬ハニーとの関わりの中で悩み、考えながら向き合っていく主人公ふたばの姿を丁寧に描く。生命の大切さについて考えられる本である。	(4)	
1584	ぼくのなまえはへいたろう 福音館書店 灰島かり文/殿内真帆 絵	自分の名前を好きになれないへいたろうは、名前を変える方法や世界が変わった名前の付け方、人気の名前などを調べるうちに、両親からも名前についての思いを聞かされる。すぐに自分の名前を好きになれたわけではなかったけれど、いつもは名前と呼ばれていた教室で突然名字で呼ばれたへいたろうは「へいたろうってよんでほしい」と感じる。自分や友達の名前について肯定的に考えるきっかけになる内容。	(2)	
選定理由	(6)			
自分の名前について悩みを抱えるへいたろうを中心に、さまざまな観点から名前について考えていく物語。自分の名前に込められた意味や願いを知ること、自分自身のこと肯定的に捉えられるようになっていくへいたろうの姿は、読者一人ひとりが自分の名前や自分自身と向き合うことにつながる。また、自分以外の名前についても考え、肯定的に捉えるきっかけとなる。	(8)			

令和元年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校高学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1585	ゆかいな床井くん 講談社	小学生6年生の少女が日々、どんなことを考え、どう思って過ごしているか、よく描かれている。主人公を取り巻く同級生たちもよく描かれている。今回担当して読んだ本の中で、最も面白く、最も推薦したいと思った本。子どもから大人までどの世代が読んでも、静かにほのぼのと心温かくなる本。ぜひ多くの人たちに手にとってもらいたい。	(4) (6) (11)	
	戸森しるこ／著	大人と同じように、子どもたちも身のまわりの様々なことについてあれこれと考え、これでのいかと悩み、平凡な毎日の中にあっても、自分なりの意見や思いを大切に生きていく。この本を手にとった児童は、読者と等身大の登場人物に共感し、同意し、自分を投影して読み進めていくだろう。そして読み終えたとき、きっと自分自身を大切に思えるようになっていくだろう。そんな思いにさせてくれる物語である。		
1586	ガラスの梨 ちい やんの戦争 ポプラ社	大阪を舞台に、昭和18年から20年の戦争の激しくなった時代を、小学校5年生「ちいちゃん」の目線で書かれた実話に基づく話。戦争で命を奪われていく描写が切ない。悲惨な生活の中でも人間としての温かさを忘れず、何とか生き抜いていく主人公と、家族の絆を描く。二度と戦争を繰り返してはいけない、そのためにも親子で読んでほしいという作者の気持ちが伝わる。戦争を子ども達に伝えていくためにぜひ読んでほしい本である。	(1) (2) (4)	
	越水 利江子／作 牧野 千穂／絵	戦争とは何だったのか、戦争の時代を人々はどのように生きていたのか。小学生笑生子の視点から描かれていて、当時の様子がよくわかる本である。挿絵は全て白黒だが、よけいに当時の空襲の時の景色を想像しながら読んでいける。生と死が隣り合わせに混在し、自分が生き延びることだけを考えがちなか、周りと共に生きようとする心の豊かさを、貧しい中でも貫こうとするその生き方に共感がもてる本である。		
1587	キュリオシティー ー ぼくは、火星にいる ー BL出版	火星探査ロボット「キュリオシティ」が誕生し、火星へ着陸する。多くの科学者たちの知恵を結集し、試行錯誤をしながらキュリオシティ打ち上げ・着陸までの奇跡を描く。宇宙へのあこがれがふくらむ1冊。キュリオシティの視点で描かれていて、難しい理論も小学生にわかりやすく説明されている。	(5) (6) (8)	
	マーカス・モートン／ 作 松田素子／訳 渡部潤一／日本語 版監修	どのページのイラストも、ほのぼのと温かいタッチで描かれていて、素敵な仕上がりになっている。もし、この本が本屋の店頭にあれば、誰もが思わず手に取ってみたいくなる絵本である。科学と冒険のドキドキ、ワクワクするお話で、誰もが思わずストーリーに引き込まれていく物語である。読み終えた後も、大切に本棚にしまっておきたい一冊である。		
1588	ジュリアが糸をつ むいだ日 徳間書店	自由研究で友達のパトリックと一緒にカイコを飼うことになる韓国系アメリカ人のジュリア。韓国っぽくてカイコを飼うことに初めは乗り気ではなかったが、親友の手前、やる気を見せていた。実際にカイコを飼い始めると、愛情がわき、真剣に観察を続けていくことになる。多民族国家であるアメリカに存在する微妙な人種差別を感じ悩むジュリア。カイコを飼い、研究をまとめていく中で成長していく物語。	(4) (8) (10)	
	リンダ・スー・パーク/ 作 ないとうふみこ/訳 いちかわなつこ/絵	物語の背景に、多民族国家アメリカ合衆国の中に存在する微妙な人種差別の問題がある。主人公ジュリアは、人種の違いを気にする大人に対して、変だなど感じつつも、自由研究をする中で同じ人間として人種は関係なく人と接していく姿勢を失わない。その姿がだんだんと周りを変えていく。一生懸命考え、行動していくジュリアの姿に共感させられる。		
1589	子ども食堂 かみ ふうせん 国土社	みんなで楽しくご飯を食べよう、子どもなら100円。という「子ども食堂かみふうせん」。親がいなくなり一人で暮らす麻耶。このポスターを見て子ども食堂に行ったことにより、どん底の生活から救われる。さらに悩みをかかえる蘭志、悠乃、一平が集い、悩みから解放され希望を繋いでいく物語。現代の抱える「孤食」問題をとりあげながら、子ども食堂の存在で救われていく心温まる話。	(1) (4) (10)	
	齋藤飛鳥 著／ふす い 装画	豊かな社会とはいえ、食生活が豊かになったかという肯定しきれない現代の様々なこしょく(個食・孤食・子食...)問題や貧困問題に焦点を当てている。子どもはそれぞれが悩みを抱えている。「子ども食堂 かみふうせん」に集い、一緒に食事をするという行為が子どもの悩みを解決していく糸口となっていく。食の大切さに気づかせてくれる本である。4人の小学生の問題が描かれているが、登場人物達にエールを送りたくなる本である。		

令和元年度埼玉県諮問図書審査票

(中学校)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1590	カーネーション・デイ ほるぷ出版 ジョン・デヴィッド・アンダーソン／著 久保陽子／訳	ステイプ・トファー・ブランドの3少年(6年生)は、病気に倒れた担任の先生に会いに行くために学校をサボリ、小冒険を計画する。それぞれに家庭環境に抱えるものがあるが、少年たちは苦難を乗り越えて、病院までたどり着く。6年生が主人公であるが、中学生で十分読み応えある内容。お互いに葛藤を乗り越えて、先生に出会った瞬間はとてすがすがしい。異国の情景を思い浮かべ、想像力を高めさせてくれる一書である。	(1) (4) (6)	
		選定理由		
		敬愛する先生がガンに侵され、闘病のために学校を去った。先生の生命に真剣に向き合い、葛藤と困難を乗り越える3人の少年。先生を思いやる少年たちの人間性がよく表現され、先生に贈った特別な1日が描かれる。少年たちの思考力や判断力によって、場面が変化に富み、先の見えない3人のミッションの展開を期待させるものとしている。先生の「理想の最後の日」を実現させるため、ぶつかり合いながらも、距離を縮め、本音で語り合えるようになる姿が、生きる力を醸成させる一書。		
1591	リマ・トウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ 講談社 こまつあやこ／著	マレーシアから帰国した花岡沙弥は日本の中学校に編入する。題名は短歌の57577のマレーシア語で発音したものの。出席番号31というだけで、図書委員の佐藤先輩から吟行に誘われ…。少女の揺れ動く感情が短歌のリズムに乗せて、綴られている。外国の文化を織り交せて、日本の伝統的な短歌をうまく活用し、少年少女の思いを表現している。「リマ・トウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ」という魔法の言葉に操られてしまった。	(5) (8) (10)	
		選定理由		
		日本文学(短歌)を題材とした新鮮なテーマ設定であり、題名も「魔法の言葉」として関心を高めている。自然や社会・心情を短詩型の芸術として巧みに表現する短歌は、日本人の心の発達に大いに役立つものである。また、マレーシアの生活や社会環境も描写され、国際理解を深めることができる。昨今は多国籍の生徒が増え、生徒の身近で一緒に生活している。共生社会の形成に向けての理解と意識を高めるため、短歌という歴史を持つ日本文学の粋で描写する筆致は、読者を魅了する。		
1592	ぼくたちのP(パラダイス) 小学館 にしがきようこ／作	夏休みにおじさんの「別荘」にいくはずであった雄太。しかしそこは山上の避難小屋であった。おじさんは大学の先生で、環境保護を研究している。研究室の学生とともに木道を作ったり高山植物を調べたりしながら、雄太の成長が描かれる。雷を予知できる雄太は、幾度となく学生たちの危機を救い、学生からたくさんのことを学ぶ。とても軽やかな筆致で、爽やかな読後感がある。山に登ってみたいくなる一冊。	(3) (5) (6)	
		選定理由		
		山の「別荘」を想像していた雄太。しかしそこは、おじさんが研究室の学生と寝食を共にしていた「避難小屋」であった。雄太は学生との交流を通して、山の自然に触れ、社会(チーム)の一員としての自覚が芽生える。自然保護の活動にともに参加し、心を大きく成長させていく。山では一時の判断が仲間たちの命を危機にさらしてしまうこともある。山から人間に与えられた課題に対して、どのようにチャレンジしていくか、問題解決能力が試されている。読後感のさわやかな一書である。		
1593	天地ダイアリー フレーベル館 ささきあり／作 高杉千明／絵	木下広葉、中学校1年生。大きなマスクをして、あまり素顔(本性)を表さない男子。栽培委員会に所属することとなり、個性豊かな仲間たちと植物の栽培を通して、成長していく物語。花と自分を重ね合わせ、中学生の微妙な心の機微を描いている。心を閉ざしていた中1男子が、仲間との交流によって、徐々に傷つくことを恐れずに生活していくことを描く。	(3) (5) (6)	
		選定理由		
		常に大きなマスクをして、表情をあまり表に出さず生活している中1男子、木下広葉。最近では実社会でも、感染予防でなくとも大きなマスクをつけて、表情を出さない人々が増えている。その状況に対する問題提起でもある。中学生に身近な委員会活動が中心であり、とても親近感がある。社会(人間関係への)参加を呼びかけ、自然と触れ合うことで人間の成長もあると伝えている。園芸にかかわる問題に対してどのように解決を図っていくのか、主人公の思考や判断がとても興味深く読める。		
1594	レモンの図書室 小学館 ジョー コットリル／作 杉田 七重／訳	昨今、高齢化社会の到来によって介護支援が注目されているが、若い介護者(ヤングケアラー)の存在については、ほとんど話題になっていない中で話題提起をしてくれる一書。介護だけに焦点を絞るのではなく、様々な書籍を紹介しながら主人公の葛藤に、読者も心を動かされる。最後までとても爽やかに終わる。レモンは洋の東西で持つ印象が異なるのであるが、どちらも併せ持った文章構成となっている。	(2) (4) (10)	
		選定理由		
		本の世界に入り込み自分を守っていた主人公カプリソ。彼女にはパパをケアするという大切な役割も追っていた。社会の若い介護者(ヤングケアラー)の存在を提起し、介護に関する正しい知識を深めることができる。主人公の行動を通して、思いやりや社会性を感じることができ、応援したくなる。これからの高齢社会で「介護」は身近なことである。本文は書籍の紹介を通して、主人公とパパへの葛藤を、暗さをもたらさなく「レモン」のようにさわやかに描いている。		

令和元年度埼玉県諮問図書審査票

(高校・青年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1595	蕎麦、食べていけ！ 光文社	16歳の春海は母が東京での仕事に慣れるまで、蕎麦名人の祖父が暮らす実家に預けられた。自然あふれる温泉街の地で、蕎麦打ちサークルで全国大会を目指すことになった春海は、信金勤めの勇太と知り合い、彼の提案する町おこしの蕎麦イベント開催にも協力することになった。大手銀行がリゾートセンター計画を掲げて迫る中、春海、勇太、そして地域を愛する人たちは、力を合わせてイベントの成功を目指す。	(2) (3) (6) (7)	
	江上剛／著	選定理由 高校生女子と地元信金の若者をメインに繰り広げられる地域応援物語。過疎、後継者問題、地域愛、友情とほのかな恋愛感情、部活動、クラウドファンディングなど、盛り込まれたテーマは多いが、無理なく全体のストーリーに組み込まれ、面白く興味深く読める。蕎麦打ちと祭りで地域をまとめていく終末に希望が感じられる。		
1596	ショコラティエ 光文社	母子家庭の聖太郎は、同級生の製菓会社の御曹司・光博の誕生日会でチョコレートフォンデュに魅入られ、2人は親友となる。中学時代、光博の幼馴染でピアノの才ある凛々花に惹かれた聖太郎は、光博の「家」や凛々花との親しさに嫉妬を感じ、一方光博は、聖太郎の菓子作りの才能を感じて苦しい気持ちを抱き始め、2人は距離をおくようになった。だがやがて彼らの人生は再び交錯し、それぞれの道を選び始める。	(5) (6)	
	藤野恵美／著	選定理由 好きなものへの才能と情熱、家庭環境や保護者からの期待がそれぞれ異なる3人。無邪気な子ども時代から、成長するに従って環境や気持ちに変化していく中での、葛藤・嫉妬・恋心などが、シンプルながら丁寧に描かれている。交流のきっかけであるチョコレートや音楽をより糸として、離れていた人生が再び交わってゆくなど、それぞれの話が程よく絡んだ展開で、進むべき道を選んだ3人のこれからが楽しみに感じられる爽快感のある終末。		
1597	ある子ども 新評論	『ギヴァー』シリーズ4作目、完結編。＜十二歳の儀式＞で職業を任命され、職業ごとのカリキュラムを受ける、すべてが縛られたコミュニティ。＜出産母＞のクレアは14歳で難産のため＜産物＞を取り出された。他の出産母と異なり子への愛情を抱いたクレアは身分を伏せて養育施設に通い、息子の世話を手伝いながら愛を深める。だがやがて息子に、コミュニティからの追放という決定が下されてしまう。	(1) (6)	
	ロイス・ローリー／著 島津やよい／訳	選定理由 ストーリーの根底に母子の愛情が流れ、幸せとは何か、人権とは何かなど、時代問わすの普遍的なテーマを投げかける。主人公の設定は衝撃的だが、舞台設定を考慮すれば対象年齢の読者が読むには無理のない範囲。自由意志がなく統治された社会の歪みや不自然さを感じることで、人権や生殖医療への問題意識を持ち、考える切っ掛けとしてほしい。シリーズ最終巻だが単独でも内容はわかる。物語終盤に過去作の人物が登場してくることで、かえって前3作に興味を持って読書を繋げられそう。		
1598	風に恋う 文藝春秋	かつての全国大会金賞校に、黄金時代の部長・瑛太郎がコーチとして着任。現在の緩んだ部の意識を変えるために、1年生の基が部長に任命される。瑛太郎に憧れて理想の演奏を追い求める基。1年生部長に対する反抗心や受験勉強との両立という悩みを抱えた上級生達。そして高校時代に描いた輝かしい未来を見失いあがく瑛太郎。それぞれの気持ちが交錯する中、全国大会を目指した本気の部活動が始まる。	(4) (5) (7)	
	額賀滯／著	選定理由 部員たちの気持ちが合わさって素晴らしい演奏へと昇華させていく様や、瑛太郎が過去の呪縛から解放されるくだりが引き立つ青春小説。大学受験やブラック企業問題も加味している。「今日という日がどれだけいいものだったかを決めるのは明日以降の自分だ。だから今日だけのために生きるな。明日の自分のために生きる。」という言葉などは多くの読者に響くだろう。取材先には越谷北高吹奏楽部の名があがり、埼玉県が舞台であることで読者も身近に感じられるのでは。		
1599	世界に一軒だけのパン屋 小学館	北海道十勝に店を構える、創業68年の「満寿屋」。地産地消にこだわり、おいしくて安全なパンを作るために、不可能といわれた国産小麦100%使用を成功させた。その社長3代に渡る歴史と想いを追った企業ノンフィクション。	(3) (5) (6) (7) (10)	
	野地 秩嘉／著	選定理由 2代目が掲げた夢に向けて困難に取り組む、社長3代に引き継がれる熱い想いが伝わってくる。不可能といわれた国産小麦100%使用を成功させた商品開発の様子や試行錯誤がメインに、合間に美味しい話も挟まれている。移り変わる世情を背景に、農業問題・環境問題にも丁寧に触れられていて、学べることも多く、これから社会に出て行こうとする世代が読むに相応しい。		

令和元年度推奨図書選定の経緯

資料1-2

1 募 集

- (1) 日本児童図書出版協会会員、YA出版協会会員に対し候補図書の申出を依頼
- (2) 県民に対し、彩の国だより、ホームページ、須原屋等を通じて候補図書を募集

2 申出受付期限

- (1) 日本児童図書出版協会加盟等各社 平成31年3月8日(金)
- (2) 一般県民 平成31年3月8日(金)

3 申出状況

計310点

4 優良図書選定委員会第1回全体会の開催(図書の配布・部門決定)

令和元年5月10日(金) 14:00~16:30 全日埼玉会館 会議室

5 優良図書選定委員会部会の開催(図書の審査)

(1) 乳幼児部会

第1回 令和元年7月 4日(木) 10:00~16:30 県立久喜図書館

(2) 小学校部会

第1回

(低学年) 令和元年6月12日(水) 15:30~16:30 さいたま市立城北小学校

(中学年) 令和元年7月12日(金) 13:30~16:30

県庁 衛生会館1階 511会議室

(高学年) 令和元年7月17日(水) 15:00~16:30 川越市立野田中学校

第2回 合同 令和元年7月23日(火) 14:00~16:30

県庁 衛生会館1階 511会議室

(3) 中学校部会

第1回 令和元年6月28日(金) 14:00~16:30 さいたま市立北浦和図書館

第2回 令和元年7月16日(火) 14:00~16:30 さいたま市立北浦和図書館

(4) 高校・青年部会

第1回 令和元年6月25日(火) 15:00~16:30 さいたま市立中央図書館

第2回 令和元年7月12日(金) 14:30~16:30 県立浦和北高等学校

6 優良図書選定委員会第2回全体会の開催(図書の最終審査及び推奨候補図書の選定)

令和元年8月2日(金) 14:00~16:30 全日埼玉会館 会議室

7 青少年健全育成審議会へ推奨図書の諮問(答申)

令和元年9月11日(水)

8 推奨年月日(予定)

令和元年10月4日(金)

令和元年度推奨候補図書の出出状況

1 令和元年度埼玉県推奨候補図書申出状況・過去2年の申出状況

	申出点数			内 訳					
	合 計			出 版 社			県 民		
	元 年度	30 年度	29 年度	元 年度	30 年度	29 年度	元 年度	30 年度	29 年度
乳幼児	60	38	46	44	34	39	16	4	7
小学校低学年	69	52	47	47	39	42	22	13	5
小学校中学年	50	45	47	34	29	40	16	16	7
小学校高学年	65	32	47	40	17	36	25	15	11
中学校	36	37	42	18	14	27	18	23	15
高校・青年	30	27	35	9	7	8	21	20	27
計	310	231	264	192	141	192	118	91	72

2 令和元年度優良図書推奨予定状況

() は平成30年度

	申し出 件 数	審査結果	
		推奨するもの	推奨しないもの
乳幼児	60 (38)	5 (5)	55 (33)
小学校低学年	69 (52)	5 (5)	64 (47)
小学校中学年	50 (45)	5 (5)	45 (40)
小学校高学年	65 (32)	5 (5)	60 (27)
中学校	36 (37)	5 (5)	31 (32)
高校・青年	30 (27)	5 (5)	25 (22)
計	310 (231)	30 (30)	280 (201)

「埼玉県青少年健全育成条例に基づく推奨、指定及び命令に関する認定基準（抄）」

（昭和58年10月 1日 施行）

（平成16年 1月20日 改正）

（平成29年 2月 9日 改正）

埼玉県青少年健全育成条例（昭和58年埼玉県条例第28号。以下「条例」という。）
第10条の規定に基づく優良な図書等、映画及び演劇の推奨の認定基準は、次のとおりとする。

- (1) 「生命の大切さ」の心情や意識を高めるもの
- (2) 社会の良識を身につけ、正しい知識と教養を深めるもの
- (3) 社会の一員としての自覚を高め、社会参加の精神を養うもの
- (4) 思いやりや社会性、倫理観や正義感などの豊かな人間性を養うもの
- (5) 自然を愛し、科学と芸術を尊び、心身の発達に役立つもの
- (6) 思考力、判断力、創造力、問題解決能力などの生きる力を育むもの
- (7) 郷土を愛し、郷土の良さを認識するのに役立つもの
- (8) 国際感覚を養い、国際理解に役立つもの
- (9) 乳幼児期の発育・発達に役立つもの
- (10) 共生社会の形成に向けて理解と意識を高めるもの
- (11) その他青少年の健全育成に特に役立つもの

埼玉県青少年健全育成条例（抄）

（優良な図書等及び興行の推奨）

第10条 知事は、図書等又は興行で、その内容が青少年の健全な育成を図るため特に優良と認められるものを推奨することができる。

（審議会への諮問）

第25条 知事は次に掲げる場合は、埼玉県青少年健全育成審議会に諮問しなければならない。ただし、第1号、第2号、第4号又は第5号に掲げる場合において、緊急を要し、審議会を招集するいとまがないときは、この限りでない。

(1) 第10条の規定により推奨をしようとするとき。

埼玉県優良図書選定委員会委員名簿（第18期）

	所属部会	氏名	勤務先	推薦団体
1	乳 幼 児	たつざわ じゅんこ	川口市立横曽根図書館	埼玉県図書館協会
		龍澤 潤子		
2	乳 幼 児	よしざわ るみ	川越市立西図書館	埼玉県図書館協会
		吉澤 瑠美		
3	乳 幼 児	たかの はるこ	埼玉県立久喜図書館	埼玉県図書館協会
		高野 治子		
4	小学校低学年	たかくら やよい	さいたま市立美国小学校	学校図書館協議会
		高倉 弥生		
5	小学校低学年	あらか ゆみ	深谷市立上柴西小学校	学校図書館協議会
		荒木 佑美		
6	小学校中学年	しみず ようこ	熊谷市立成田小学校	学校図書館協議会
		清水 洋子		
7	小学校中学年	せいみや なつみ	吉川市立北谷小学校	学校図書館協議会
		清宮 なつみ		
8	小学校高学年	あまだつ しんいち	川越市立野田中学校	学校図書館協議会
		天達 新一		
9	小学校高学年	とみざわ ひろこ	川越市立高階北小学校	学校図書館協議会
		冨澤 浩子		
10	中 学 校	しまだ ゆうすけ	川越市立霞ヶ関東中学校	学校図書館協議会
		島田 祐介		
11	中 学 校	うしごめ たかのり	熊谷市立大里中学校	学校図書館協議会
		牛込 孝憲		
12	中 学 校	つかもと なおこ	さいたま市立川通中学校	学校図書館協議会
		塚本 直子		
13	中 学 校	しかの しの	さいたま市立北浦和図書館	埼玉県図書館協会
		鹿野 詩乃		
14	高校・青年	やまみや むつみ	さいたま市立大宮北高等学校	埼玉県図書館協会
		山宮 睦		
15	高校・青年	まえだ みかこ	埼玉県立新座総合技術高等学校	高等学校図書館研究会
		前田 美香子		
16	高校・青年	みぬま のりこ	埼玉県立浦和北高等学校	高等学校図書館研究会
		三沼 紀子		
17	高校・青年	くらもと ともこ	埼玉県立春日部女子高等学校	高等学校図書館研究会
		倉本 智子		

埼玉県青少年健全育成条例に基づく推奨、指定及び命令に関する
認定基準の改定について

青少年課 健全育成支援担当

標記認定基準について、以下の通り改定することについて、青少年健全育成審議会にて審議していただきたく提案いたします。

1 改定の経緯

- 平成30年9月13日に開催した「平成30年度第2回青少年健全育成審議会」において、認定基準について委員から以下の指摘があった。
 - ・認定基準は時の変化等に応じて、随時、変更していくべき。
 - ・どの図書にも該当するような内容が曖昧な基準がある。
- 令和元年8月2日に開催した「令和元年度第2回埼玉県優良図書選定委員会」において、認定基準について委員から以下の意見があった。
 - ・認定基準の内容が重複しているものがあり、使い分けが難しい。
 - ・「言葉を楽しむ、大切に作る」や「心の成長や自分の生き方を内省するきっかけとなる」といった認定基準があってもよいのでは。

2 見直しの方向性

- 優良図書推奨の目的を明確にし、各認定基準の分類及び文言の整理を行うことで、その違いをより明確にする。
 - 新たに追加すべき認定基準について検討する。
 - 「乳幼児部門」における図書選定の認定基準が「(9) 乳幼児期の発育・発達に役立つもの」に集中しているため、この認定基準を細かく分類する。
- ※見直しを実施するに当たり、来年度以降全面実施される文部科学省の「学習指導要領」や他県の認定基準なども参考とする。

3 事務局（青少年課）の考え

埼玉県青少年健全育成条例に基づく推奨、指定及び命令に関する認定基準について、2ページの改定（案）のとおり改定し、令和2年度の埼玉県優良図書の選定から適用したい。

【改定（案）】

「埼玉県青少年健全育成条例に基づく推奨、指定及び命令に関する認定基準（抄）」

（昭和58年10月1日 施行）

（平成16年1月20日 改定）

（平成29年2月9日 改定）

（令和元年9月 日 改訂）

埼玉県青少年健全育成条例（昭和58年埼玉県条例第28号。以下「条例」という。）
第10条の規定に基づく優良な図書等、映画及び演劇の推奨の認定基準は、次のとおりとする。

(1) 豊かな人間性を養うもの

- ア 思いやりや社会性、倫理観や正義感などを養うもの
- イ 「生命の大切さ」の心情や意識を高めるもの
- ウ 社会の一員としての自覚を高め、社会参加の精神を養うもの
- エ 言葉、表現等に親しみ、楽しむことで情操を高めるもの

(2) 生きる力を育むもの

- ア 思考力、判断力、創造力、問題解決能力などを育むもの
- イ 自らの生き方を内省するきっかけとなるもの

(3) 知識・教養を深めるもの

- ア 自然や科学、スポーツ、文化芸術などへの興味関心を高め、理解を深めるもの
- イ 郷土や伝統を愛し、それらの良さを認識するのに役立つもの
- ウ 国際感覚を養い、国際理解に役立つもの
- エ 多様性を理解し、共生意識を高めるもの
- オ 健やかな発達・成長のため、基本的な生活習慣や態度を養うもの

(4) その他

- ア その他青少年の健全育成に特に役立つもの

埼玉県青少年健全育成条例に基づく推奨、指定及び命令に関する認定基準新旧対照表

【現 行】	【改訂案】
<p>(1) 「生命の大切さ」の心情や意識を高めるもの</p> <p>(2) 社会の良識を身につけ、正しい知識と教養を深めるもの</p> <p>(3) 社会の一員としての自覚を高め、社会参加の精神を養うもの</p> <p>(4) 思いやりや社会性、倫理観や正義感などの豊かな人間性を養うもの</p> <p>(5) 自然を愛し、科学と芸術を尊び、心身の発達に役立つもの</p> <p>(6) 思考力、判断力、創造力、問題解決能力などの生きる力を育むもの</p> <p>(7) 郷土を愛し、郷土の良さを認識するのに役立つもの</p> <p>(8) 国際感覚を養い、国際理解に役立つもの</p> <p>(9) 乳幼児期の発育・発達に役立つもの</p> <p>(10) 共生社会の形成に向けて理解と意識を高めるもの</p> <p>(11) その他青少年の健全育成に特に役立つもの</p>	<p>(1) 豊かな人間性を養うもの ア 思いやりや社会性、倫理観や正義感などを養うもの イ 「生命の大切さ」の心情や意識を高めるもの ウ 社会の一員としての自覚を高め、社会参加の精神を養うもの エ 言葉、表現等に親しみ、楽しむことで情操を高めるもの</p> <p>(2) 生きる力を育むもの ア 思考力、判断力、創造力、問題解決能力などを育むもの イ 自らの生き方を内省するきっかけとなるもの</p> <p>(3) 知識・教養を深めるもの ア 自然や科学、スポーツ、文化芸術などへの興味関心を高め、理解を深めるもの イ 郷土や伝統を愛し、それらの良さを認識するのに役立つもの ウ 国際感覚を養い、国際理解に役立つもの エ 多様性を理解し、共生意識を高めるもの オ 健やかな発達・成長のため、基本的な生活習慣や態度を養うもの</p> <p>(4) その他 ア その他青少年の健全育成に特に役立つもの</p>

【認定基準の構成】

(1) 豊かな人間性を養うもの

- ア 思いやりや社会性、倫理観や正義感などを養うもの
- イ 「生命の大切さ」の心情や意識を高めるもの
- ウ 社会の一員としての自覚を高め、社会参加の精神を養うもの
- エ 言葉、表現等に親しみ、楽しむことで情操を高めるもの

(2) 生きる力を育むもの

- ア 思考力、判断力、創造力、問題解決能力などを育むもの
- イ 自らの生き方を内省するきっかけとなるもの

(3) 知識・教養を深めるもの

- ア 自然や科学、スポーツ、文化芸術などへの興味関心を高め、理解を深めるもの
- イ 郷土や伝統を愛し、それらの良さを認識するの役に立つもの
- ウ 国際感覚を養い、国際理解に役立つもの
- エ 多様性を理解し、共生意識を高めるもの
- オ 健やかな発達・成長のため、基本的な生活習慣や態度を養うもの

(4) その他

その他青少年の健全育成に特に役立つもの